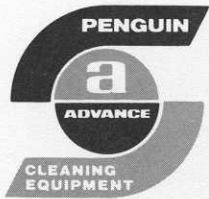


# OPERATION MANUAL

## AIR SCOOP 8 & SPRITE 8

業務用



# エアースクープ8 & スプライト8 取扱説明書



PENGUIN WAX CO., LTD.

このたびは、エアースクープ8及びスプライト8をお買い上げいただき  
誠にありがとうございます。

本書は長く効率よくご使用いただくための使用と手入れの方法を  
説明しております。

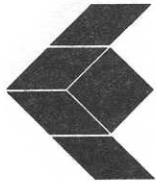
この説明書に示された注意事項をよく読んでから  
操作してください。

# OPERATION MANUAL

## AIR SCOOP8& SPRITE8

### 目次

安全にお使いいただくために -----	2
仕様 -----	4
エアースクープ8の操作のしかた -----	5
スプライト8の操作のしかた -----	8
使用後のお手入れについて -----	9
メンテナンスについて -----	10
トラブルシューティング -----	11
アフターサービスと保証について -----	12



## 安全にお使いいただくために

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、下記の注意事項を必ず守ってください。
- ご使用になる前に、下記の注意事項すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

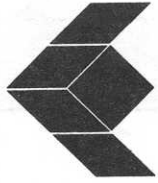


### 警 告

- コードのプラグをコンセントに差したまま、機械から離れないでください。また、機械を使用しないときや修理・点検をおこなうときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、けがなどの原因になります。
- 雨に濡れないよう、屋内で保管してください。  
感電の恐れがあります。
- 子供の近くでご使用になるときは、よく注意してください。
- この取扱説明書にしたがってご使用ください。また、付属品はメーカー指定のものをお使いください。  
事故の原因になります。
- コードを引っ張って移動させたり、ドアに挟んだり、隅に引っかけたりしないでください。機械本体がコードを踏まないようにしてください。コードに熱いものを近づけないでください。  
感電やショートして、発火する恐れがあります。
- コードを引っ張ってコンセントからプラグを抜かないでください。コンセントからプラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。  
感電やショートして、発火する恐れがあります。
- 濡れた手でプラグやコード、本体に触れないでください。  
感電の恐れがあります。
- 吸込口にもものを入れたり、吸込口にもものが詰まった状態でご使用にならないでください。ホコリや糸くず、髪の毛、その他空気の流れを低下させるようなものは取り除いてください。故障の原因になります。
- 吸込口やモーターの作動している部分には、衣服、髪の毛、指などを近づけないでください。けがの原因になります。
- 火のついたままのタバコやマッチ、灰や、人体に有害なホコリをバキュームしないでください。  
火災や事故などの原因になります。
- ドライバキュームとしてご使用になる場合は、必ず所定の場所にドライ用フィルターをご使用ください。  
モーターの故障の原因になります。

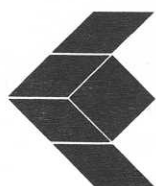
**警 告**

- プラグをコンセントから抜く際は、必ず機械の電源を切ってください。  
感電の恐れがあります。
- 階段付近で操作される場合は、細心の注意を払ってください。
- ガソリンなどの引火性のある液体をバキュームしたり、またそのような液体が近くにある場所  
でお使いにならないでください。  
発火する恐れがあります。



## 仕 様

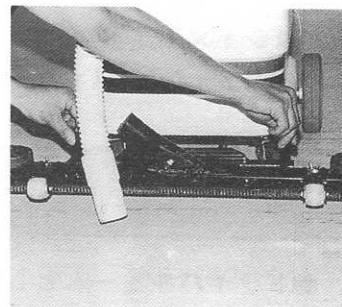
	エアースクープ 8	スプライト 8
モーター	1.3H.P. 100V 50/60サイクル 2ステージバイパスモーター、2段ファン構造、オーバーフロー防止弁つき	
回収容量	30 L	
タンク	特殊強化ポリエチレン製	
モーターカバー	ABS樹脂製	
スクイジー	ポリウレタン製、脱着自在、 スクイジーが床を滑らかに動くようナイロン製ローラーつき	
スクイジー幅	58 cm	45 cm
コード	ビニール製 1.5 m	
重量	25 kg	14.9 kg
高さ	95 cm	



## エアースクープ8の操作のしかた

### ① ウェットバキュームとして使うとき

1. ウェットバキュームとして使う前にドライバキュームとして使用していた場合は、まずドライ用フィルターを取り外してください。
2. スイッチがハンドルの反対側を向くように、パワーヘッドを回収タンクの上に置いてください。
3. スクイジーに付いてる2個のT字形ナットをゆるめ、前にローラーがくるようにスクイジーを取り付けてください。(写真-1)



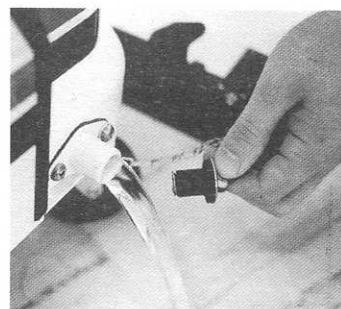
(写真-1)

4. 回収ホースをホースコネクターに差し込んでください。
5. 回収ホースのもう片方の端をスクイジーに接続してください。
6. スイッチがOFFになっていることを確認して、コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
7. スクイジー昇降ペダルでスクイジーを床に降ろしてください。(写真-2)



(写真-2)

8. スイッチをONにして、前進しながら汚水を回収していきます。
9. 洗剤分を含んだ水を回収する場合、消泡剤を使用しますと作業効率が上がり効果的です。消泡剤を加えるには、まず回収ホースをスクイジーから外し、ホースの端からタンクへ消泡剤を流し入れてください。消泡剤の使用量については、メーカーが表示している使用方法に従ってください。消泡剤を入れたらホースをスクイジーに元通りに接続してください。また、回収タンクの汚水を排水する度に消泡剤を加えるようにしてください。
10. 回収タンクには、汚水が一杯になった時バキュームシステムの働きを遮断するオートシャットオフフロートが装備されています。フロートがバキュームシステムを遮断すると、バキュームモーターの音が急に変わるのですぐにわかります。このようにフロートが閉じたら、それ以上汚水の回収ができません。すぐに回収タンクの汚水を排水してください。汚水は排水バルブにより、簡単に捨てることができます。(写真-3)



(写真-3)

## ⚠ 注 意

●オートシャットオフフロートが閉じたら、使用をやめてすぐに回収タンクの汚水を排水してください。

汚水を排水せずに使い続けると、モーターに水が入り込み、故障の原因になります。

### ②ドライバキュームとして使うとき

オプション（別売り）のドライ用フィルターとドライ用スクイジーカートリッジを取り付けますと、ドライバキュームとして使用することができます。

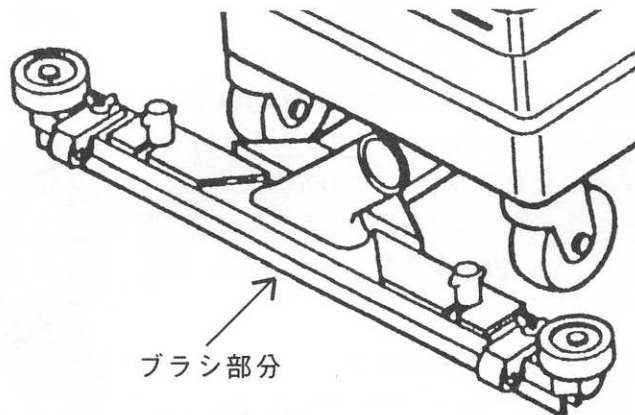
## ⚠ 注 意

●ドライバキュームとして使用する場合は必ずドライ用フィルターを取り付けてください。フィルターを取り付けずにドライバキュームしますと、機械の故障の原因となります。

1. 回収タンクからパワーヘッドを取り外してください。  
（ドライバキュームとして使う前にウェットバキュームとして使用していた場合は、回収タンクの汚水を排水してタンクの汚れを洗い流し、タンクを完全に乾かしてください。）
2. ドライ用フィルターを回収タンクに取り付けてください。このとき、フィルターのガスケットがタンクの縁に密着するようにしてください。（写真-4）
3. スイッチがハンドルの反対側を向くように、パワーヘッドを回収タンクの上に置いてください。スイッチがOFFになっていることを確認し、コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
4. スクイジーにドライ用スクイジーカートリッジを取り付けてください。このとき、スクイジーカートリッジは下の図のようにブラシ部分が機械の前にくるようにセットしてください。




（写真-4）

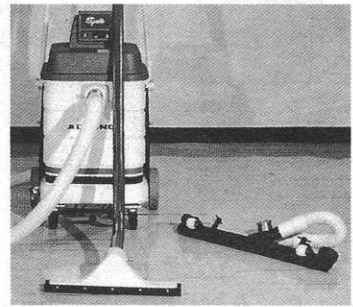


5. スイッチをONにしてバキュームしてください。

### ③ スプライト用アクセサリについて

オプション（別売り）のスプライト用アクセサリ（アダプター、ワンド、ホース、スクイジーノズル）を取り付けて使用することができます。

（  8ページ「スプライト8の操作のしかた」）




（写真-5）





## スプライト 8 の操作のしかた

1. ウェットバキュームとして使う前にドライバキュームとして使用していた場合は、まずドライ用フィルターを取り外してください。
2. スイッチがハンドルの反対側を向くように、パワーヘッドを回収タンクの上に置いてください。
3. 機械にアダプターを取り付けて、ホースを接続してください。
4. ホースにワンドを取り付けてください。
5. ワンドにスクイージーノズルを取り付けます。
  - ・ ウェットで使用の場合  
ウェット用スクイージーノズルを取り付けてください。
  - ・ ドライで使用の場合  
ドライ用スクイージーノズル（オプション）を取り付けてください。また、タンクには必ずドライ用フィルター（オプション）を取り付けてください。  
（  6ページ 「②ドライバキュームとして使う時」）



### 注 意

- ドライバキュームとして使用する場合は必ずドライ用フィルターを取り付けてください。フィルターを取り付けずにドライバキュームしますと、機械の故障の原因となります。

6. コードのプラグをコンセントに差込み、スイッチをONにしてバキュームしてください。
7. 回収タンクには、汚水が一杯になった時バキュームシステムの働きを遮断するオートシャットオフフロートが装備されています。フロートがバキュームシステムを遮断すると、バキュームモーターの音が急に変わるのですぐにわかります。このようにフロートが閉じたら、すぐに回収タンクの汚水を排水してください。フロートが閉じてしまうと、それ以上汚水の回収ができません。



### 注 意

- オートシャットオフフロートが閉じたら、使用をやめてすぐに回収タンクの汚水を排水してください。汚水を排水せずに使い続けると、モーターに水が入り込み、故障の原因になります。



## 使用後のお手入れについて

### ⚠ 注 意

- 機械のお手入れをするときは、必ずコードのプラグをコンセントから抜いてください。  
感電の恐れがあります。

1. 使用後は必ず汚水を捨て、タンクを水で洗い流してきれいにしてください。
2. ホース、スクイジーを取り外して、汚れを洗い流してください。また、損傷がないかチェックをしてください。
3. ドライで使用の場合は、フィルターをクリーニングしてください。
4. 保管するときは、パワーヘッドをタンクの縁からずらして置いてください。このように置くとタンク内の通気が良くなりモーターが長持ちします。(写真-6)
5. マシンの外側のホコリや汚れを絞った雑巾などでよく拭き取ってください。下記の「メンテナンススケジュール表」を参照して、機械を保管する前に必要に応じて機械のメンテナンスを行なってください。



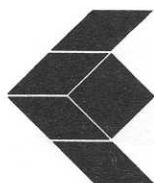
(写真-6)

( 10ページ「 メンテナンスについて」)

### ◆メンテナンススケジュール表

点検事項	毎日	週に一度	月に一度	年に一度
回収タンクのクリーニング	○			
スクイジーのクリーニング	○			
フィルターの点検		○		
注油			○	
タンク・ホースの点検			○	
バキュームモーターのカーボンブラシの点検				○

メンテナンス終了後は、屋内の清潔で乾燥したところに機械を保管してください。



## メンテナンスについて

### 注 意

- 機械の修理・点検をおこなうときは、必ずコードのプラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、けがなどの原因になります。

#### ①フィルターのメンテナンスについて

月に一度または必要に応じてフィルターのクリーニングを行なってください。

##### ◆ドライ用フィルターのクリーニングは...

1. パワーヘッドを回収タンクから外してください。
2. 回収タンクからフィルターを取り外してください。
3. ドライ用フィルターは、バッグを振る・ブラッシングする・バキュームをかける等の方法でホコリやゴミを取り除いてください。
4. フィルターを、バッグの金属リングのガスケットがタンクの縁に密着するように、回収タンクに取り付けてください。

#### ②注油について

月に一度、ホイールとキャスターに機械用油を注入してください。

#### ③バキュームモーター、ブラシモーターのカーボンブラシの点検について

年に一度、最寄りの弊社支店・営業所に連絡して、バキュームモーターのカーボンブラシを点検・交換してもらいようにしてください。

### 注 意

- カーボンブラシの点検・交換をせずに機械を使い続けると、モーターが修理不可能になるほど損傷を受けます。このような場合は品質保証書による保証の対象外となりますので、ご注意ください。詳しくは品質保証書をご覧ください。

#### ④スクイジーブレードの交換について

スクイジーの後に汚水のしま模様が残ってしまうようになったら、スクイジーブレードが汚れているが、傷んでいることが考えられます。このようなときは、スクイジーを取り外してぬるま湯で洗い、スクイジーブレードを点検してください。スクイジーブレードが切れたり、破れたり、伸びきっていたり、ある程度摩耗していたら、スクイジーブレードを反対に付け替えるか、交換するようにしてください。



# トラブルシューティング

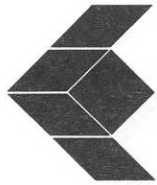
こんな時は...

故障状況	点検	原因	処置
作動中急にモーターが止まる	電源プラグの点検	電源プラグの接触不良 コードの断線	完全に接続する コードの修理又は取替
	スイッチの点検	スイッチの接点・接続不良	スイッチの修理又は取替
	モーターの点検	カーボンブラシの摩耗 カーボンブラシの掛け止め外れ	カーボンブラシの取替（2個同時に行なう） カーボンブラシを完全に掛け止めする
吸引力が弱い （吸い残しが出る）	スクイジの点検	スクイジブレードの破損・摩耗	スクイジブレードの取替
	ホースの点検	ホースにゴミがつまっている	ゴミを取り除く
		ホースと接続部にスキ間がある ホースが損傷している	完全に接続する ホースの修理又は取替
	モーターヘッドのガスケットの点検 モーターの点検	ガスケットの損傷 スパークが大きい（回転数の低下）	ガスケットの取替 モーターの取替
モーターは回転しているが吸いしない	フロートの点検	転倒又は衝撃でフロートが作動している	スイッチを切ってフロートを下げる
	タンクの汚水がいっぱいになっているか点検	フロートが作動している	汚水を捨ててフロートを下げる
異常な音がる	各 부품のネジを点検	ネジのゆるみ	ネジを完全に締めつける
	モーターを点検	モーターファン内に異物を吸い込んでいる	モーターの取替

所定の処置方法で回復しない場合は、機械の故障が考えられます。お買い求め先にご連絡ください。

## 注意

コードの断線などで、コードを交換する場合は、危険を防止するために、弊社サービスまたは、同等の有資格者が行ってください。



## アフターサービスと保証について

- ご購入いただいた日から、1年間を保証期間とし、保証期間中に発生した故障は、原則として無料修理させていただきます。なお、保証期間中でもお客様の使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障・損傷及び消耗品については、有料となりますのでご注意ください。
- 使用中にトラブルが生じた場合、修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、点検してください。その上で回復しない場合にはご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または弊社支店・営業所までご相談ください。
- 保証に関する詳しい内容は、保証書を参照してください。

---

MEMO



## ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大阪市東成区東中本3-10-14(〒537-0021) TEL 06 (6973) 9131

東京支店	東京都中野区丸山1-27-6	(〒165-0021) TEL 03(3387)9381	FAX 03(3388)3350
名古屋支店	名古屋市瑞穂区苗代町26-16	(〒467-0841) TEL 052(824)1711	FAX 052(824)1714
大阪支店	大阪市東成区東中本3-10-14	(〒537-0021) TEL 06 (973) 9131	FAX 06 (976) 1456
福岡支店	福岡市博多区東比恵2-20-10	(〒812-0007) TEL 092(451)9411	FAX 092(441)0512
札幌営業所	札幌市東区北13条東14-2-1	(〒065-0013) TEL 011(742)3701	FAX 011(742)3713
仙台営業所	仙台市若林区白萩町37-25	(〒984-0048) TEL 022(239)5161	FAX 022(283)3390
横浜営業所	横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-44	(〒224-0033) TEL 045(944)1671	FAX 045(944)1670
北陸営業所	金沢市西念町リ-32-2 金沢MGビル2F	(〒920-0026) TEL 076(224)4281	FAX 076(224)4285
広島営業所	広島市西区楠木町3-8-3	(〒733-0002) TEL 082(239)6822	FAX 082(239)6577
高松営業所	高松市鶴市町903-1	(〒761-8032) TEL 0878(81)5067	FAX 0878(81)0716
千葉出張所	習志野市谷津1-17-7 三愛谷津ビル2F	(〒275-0026) TEL 0474(77)8971	FAX 0474(77)8905
熊本出張所	熊本市神水1-38-35	(〒862-0954) TEL 096(387)5177	FAX 096(387)5178

○取り扱い店名